

# 深めた絆

姉妹都市の記念調印を終え、固い握手を交わす山内市長とクライペダ市のリマンタス市長



姉妹都市締結から20周年 リトアニア共和国クライペダ市

# 友好を未来に

姉妹都市締結から20周年を迎えた本市とリトアニア共和国クライペダ市。両市の友好を未来へとつなげるため、7月28日、15人の派遣団が日本を旅立ちました。現地で交流を深め、確信した固いきずな。友好は未来に。姉妹都市関係の新たな一歩を踏み出しました。(5ページまで)

## 20年の節目 出発は力強く

平成元年7月9日、琥珀が縁となり、本市とリトアニア共和国クライペダ市は姉妹都市となりました。これまで文化・芸術の交流事業などを行い、互いに理解を深めてきた両市。今年、その関係は20年の節目を迎えました。両市が築いた友好を未来へとつなげるため、市は姉妹都市記念事業派遣団を組織。7月28日～8月5日の日程で、団員15人がクライペダ市を訪問しました。

7月28日、市役所で行われた出発式。多くの人が見守る中、派遣団団長の山内隆文市長は「活動をしっかりと行い、友好の輪を広げてきたい」と力強くあいさつ。市国際交流協議会の細谷地諄吉会長から激励を受け、意欲に満ちた15人がクライペダ市に向かって出発しました。

## 調印式で新たな一歩が

日本から飛行機を乗り継いで12時間。到着したのはリトアニア共和国の首都ヴィリニウス。派遣団は日本大使館への表敬訪問などを経てクライペダ市に入りました。

7月31日には、活動のメインとなる姉妹都市記念調印式が。姉妹都市関係を継続し、今後の交流を約束する同意書に山内市長とクライペダ市のリマンタス・タラスケヴィシス市長が調印しました。

リマンタス市長は「激動の20年。ソ連からの独立運動の際、久慈市から受けた援助は忘れられない」と感謝。山内市長は「これからも友好を深め、お互いに発展を」と応

## 15人の派遣団 日本を伝え、友好深めた9日間

1. リトアニア共和国の首都ヴィリニウスでは日本大使館に表敬訪問
2. 久慈市フェアの開会には日本らしく。両市長ら6人が威勢よく鏡割りを行い、フェアの開催を祝いました
3. 手を掛けることにより美しさが増す華。日本の美に観客の視線は釘づけに
4. 浴衣を着て、お茶の作法をじっと見つめる観客。表情は真剣です

5. 踊りの披露だけでなく、浴衣の着付けや踊りの指導も。参加者は日本文化に触れて大喜び
6. 漢字も大人気。次々に書かれる力強い一文字一文字に、観客は熱い視線を送りました
7. 久慈市フェアの締めくくりはナニヤトヤラ。国も人種も越えてみんなで友好の輪を広げました

7. 28 市役所で出発式。成田空港へ
7. 29 出国。リトアニア共和国の首都ヴィリニウスに到着
7. 30 日本大使館表敬訪問。杉原千畝記念館視察。クライペダ市着
7. 31 クライペダ市長表敬訪問。姉妹都市記念調印式。久慈市フェア開会
8. 1 クライペダ市内視察。要人による船上パーティー。久慈市フェア2日目
8. 2 久慈市フェア最終日
8. 3 大型帆船パレード視察。クライペダ市発。ヴィリニウスへ
8. 4 ヴィリニウス空港から日本へ
8. 5 帰国。市役所で到着式

え、固い握手で両市のきずなの深さを表しました。調印後は踊りや音楽など互いの文化を紹介。姉妹都市関係の新たな一歩を笑顔で踏み出しました。

## 深めた交流 友好を成果に

クライペダ市では、初誘致された国際的な大型帆船レースと海の祭典が7月31日からスタート。これに合わせ、派遣団は日本文化の紹介や土産品を販売する久慈市フェアを8月2日までの3日間、開催しました。

実演や体験を行ったのは日本舞踊に書道、茶道、華道の4つ。会場には、日本に触れ学ぼうとする観客が殺到し、長い列を作りました。団員は、クライペダの人たちの日本や久慈に対する関心の高さに驚き、喜びながら、笑顔で交流を深めました。

また今回の活動では、平成5年から1年間、本市で研修したビタウタス・ドウムチェスさんが全面的に団員らをサポート。ドウムチェスさんが教える日本語教室の学生らも

物販などを手伝いました。これまでの友好の成果が、今回の活動でも発揮されたのです。活動で交流を深め、姉妹都市のきずなを確信した派遣団は8月3日、クライペダ市を離れヴィリニウスに。友好という未来に向けた大きな成果を手し、リトアニアを後にしました。

## 到着 未来に向けた始まり

出発から9日目の8月5日、派遣団は市役所に到着。活動をやり遂げ、晴れやかな表情を見せる団員は、大きな拍手で迎えられました。

山内市長は「団員の活動を通してさまざまな面で交流が図られた。今後も交流を進め、より友好な関係を築きたい」と強い思いを。友好を未来につなぐ目的を達成し、活動の全日程が終了しました。

これからも、いつまでも。未来に向けたクライペダ市との友好が今、始まりました。

派遣活動をサポートした元本市研修生のドウムチェスさん（写真左）学生らも物販などに活躍

